

任意共済・年金共済の 加入推進について

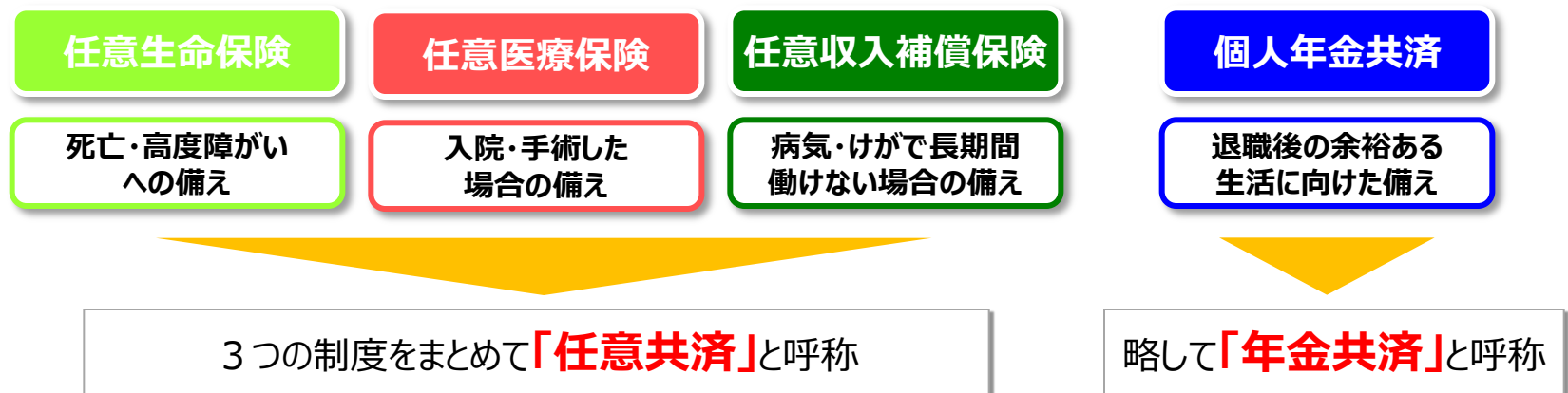
平成30年度

災害共済関係 加入推進会議

<目次>

1. はじめに
2. 任意共済のメリットと給付内容について
3. 任意共済のバージョンアップ内容について
4. 年金共済のメリットについて
5. 任意共済・年金共済の加入推進について

<制度の名称について>



Q

なぜ、全国町村会が
任意共済・年金共済を実施しているのでしょうか？
(町村等職員が各自バラバラに保険加入すればよいのではないか？)

A

全国町村会が、各町村の「**福利厚生制度**」の一部を
バックアップして、町村等職員に各種の保障を『**割安に**』
提供できるよう、制度を一体的に運営しています

⇒ **役場等による福利厚生制度の一部として、任意共済・年金共済を
全ての町村等職員に分け隔てなく周知ください！**

任意共済のメリットと 給付内容について

① お得

② 簡単

③ 自在

④ ずっと安心

①お得

掛金がお安い！

- 全国町村会としての団体割引が適用される
- 任意生命保険・任意医療保険では、1年ごとに収支を計算し、剰余が出た場合は配当金として還元
⇒ 実質負担額はさらに安くなる

【例】30歳代で死亡保険金1,000万円の場合、月払掛金はいくら？

任意生命保険
(任意共済保険)
配当率を加味した実質負担額

個人加入の保険
日本生命商品、保険期間10年

30歳
男性

お得
996 円

約 59 %
割安

2,430 円

30歳
女性

お得
708円

約 67 %
割安

2,190 円

※平成30年1月更新時の確定保険料と、H27~29年度の
配当率実績**平均24.2%**を用いて計算。
掛金は30~39歳の10年間加入時の平均。

【例】30歳代で入院給付金日額1万円の場合、月払掛金はいくら？

任意医療保険

配当率を加味した実質負担額

個人加入の保険

日本生命商品、保険期間10年

30歳
男性

お得

2,230 円

約 24 %
割安

2,970 円

30歳
女性

お得

2,230 円

約 40 %
割安

3,760 円

※平成30年1月更新時の確定保険料と、H27～29年度の
配当率実績 **平均14.9%** を用いて計算。
掛金は30～39歳の10年間加入時の平均。

【例】30歳代で保険金月額10万円の場合、月払掛金はいくら？

任意収入補償保険

団体長期障害所得補償保険

あいおいニッセイ同和損害保険商品

30歳
男性

お得

1,274円

約 10 %
割安

1,416円

30歳
女性

お得

1,422円

約 10 %
割安

1,580円

※平成31年1月更新時の概算保険料を用いて計算。

②簡単

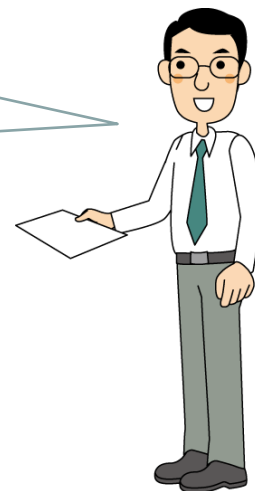
加入手続きが簡単！

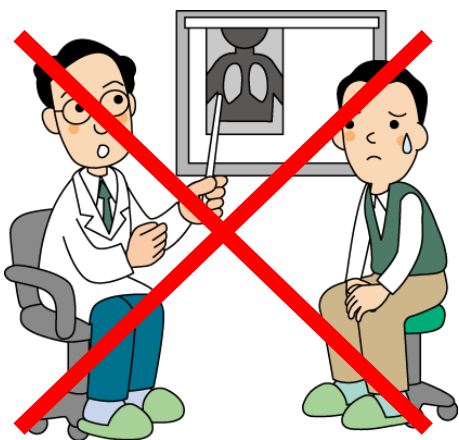
- 申込書類に記入・押印して、職場の総務担当者に提出するだけ



総務担当者とのやりとりだから安心感があるし、
職場で手続きが完結するのがいいね

手続きのためわざわざ外に出掛けたりする必要が
ないもの楽チンだね





- 医師の診査を受けたり、健康診断の結果を提出したりする必要なし



新規加入・増額するときは、
申込書の裏面を見て、**健康状態に関する質問事項に**
回答するだけでいいのね！

必要書類は少ない方が助かるわよね



③ 自在

毎年、保障内容を見直すことができる

- ライフイベントの変化などに合わせて、保障額を増減することができる



家族も増えたことだし、もし自分に万が一のことがあったら困るから、次の更新のときに任意生命保険の保険金額を増額しておこう

【例】

任意生命保険

保険金額
(本人)

2,000万円



3,000万円
(1,000万円増額)

○ 保険の種類を追加することができる

病気のリスクが気になるから、健康なうちに
任意収入補償保険にも新規に加入しておこう



【例】

任意生命保険
本人・400万円

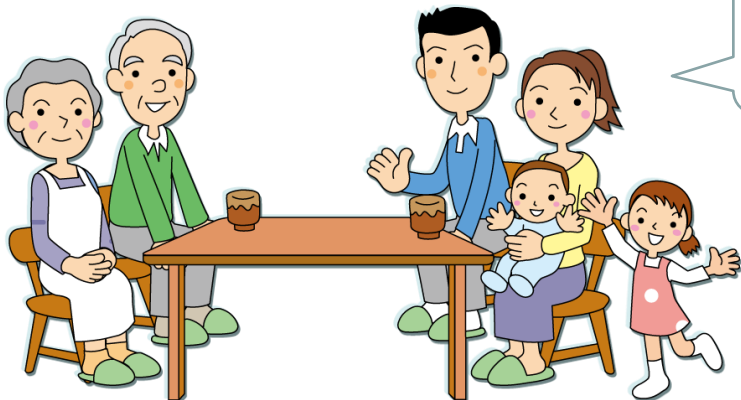
に加えて

任意収入補償保険
本人・2口

にも加入

○ 配偶者・子どもを追加することができる※

医療保険だけでも入れるなら
私も加入したいわ



【例】

任意医療保険
本人・日額1万円

に加えて

任意医療保険
配偶者・日額1万円

にも加入

※本人が加入している場合に限り、配偶者・子どもを追加加入させることができます。
なお、任意収入補償保険は本人のみの加入となります。

④ ずっと安心

一旦加入すると、病気になっても継続加入できる

- 一旦加入すれば、その後、病気になっても同額かそれ以下の保障額で継続加入できる



将来の疾病リスクも考えると
次回の更新時も減額せず
同額継続しておいた方がいいですよ

病気が見つかる前に
任意共済に入って
おいて良かったね



○ 任意生命保険・任意医療保険は75歳まで 継続可能※

※任意生命保険で在職者の場合は85歳まで継続可能。



もし思ったよりも健康だったら途中で脱退するかもしれないけど、まずは75歳までの保障を確保できて良かった！

退職者になってしまうと増額できないと聞いたから、私はよく検討して、事前に増額したのよ。



ご参考

【若い方に特に伝えたいこと】

「保険加入はまだ早い」と考えているときが
実は保険に加入しておくべきタイミングです

Xさん (28歳・男性) のケース



医療保険？
健康には
自信があるし
加入の
必要ないよ！

まだ



まさかの交通事故
(しかも、もらい事故) で手術！



ケガは治ったものの
後遺症が
気になる...

でも

手術から5年間は
任意医療保険に
加入できません！

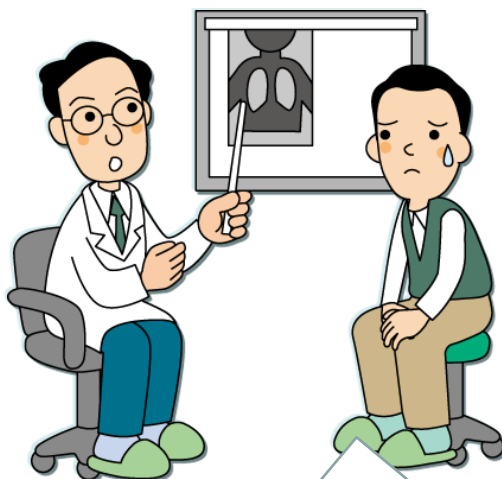
Yさん (38歳・男性) のケース



任意医療保険？
来年から人間ドックも
受ける予定だし、

まず 加入しておこう

<人間ドックにて>



まさか病気が
見つかるなんて……

とりあえず先に
任意医療保険に入っておいて
良かった……

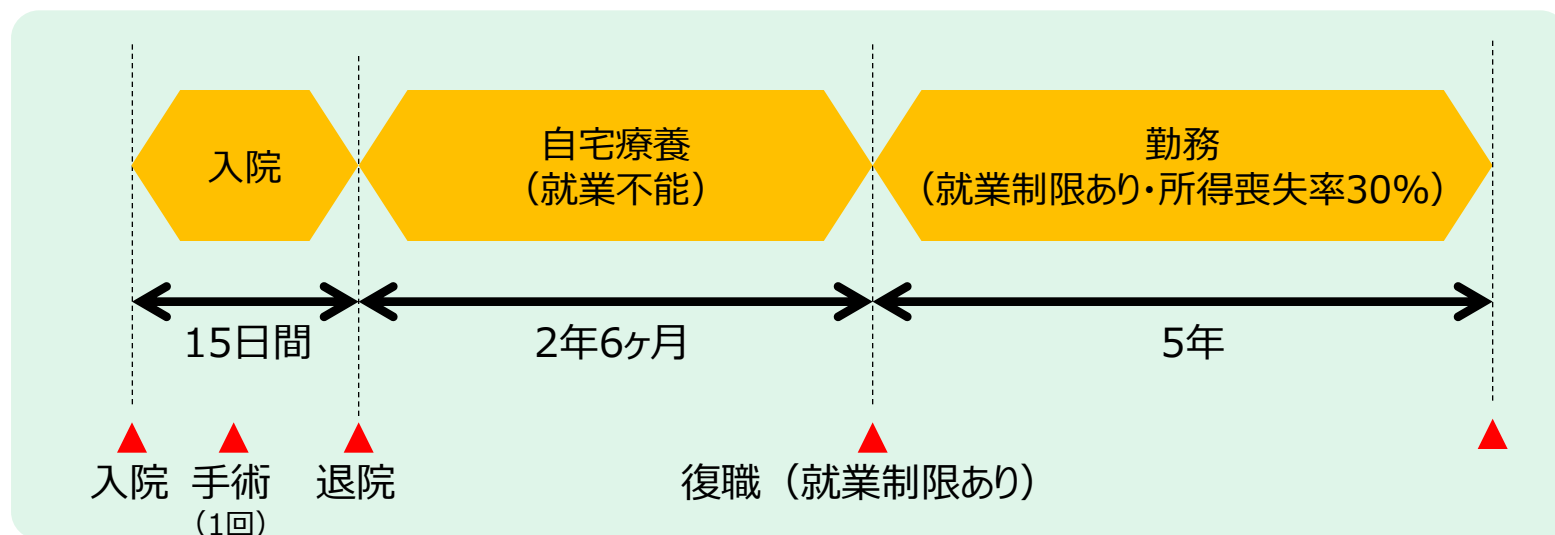


**病気による
「連続7日以上の入院」
「7日以上にわたる治療・投薬」
があった場合、
それから5年間は
任意医療保険に加入できません！**

お支払い事例（47歳・女性）①

Aさんのケース
(47歳女性)

- ◆ 胸のしこりが気になって精密検査を受診したところ、乳がんが発見されました。
- ◆ 15日間の入院中に手術を1回受け、その後2年半の治療期間を経て職場復帰しました。
- ◆ しかし治療は継続中のため、発症前と同じようには働けず収入は30%減ってしまい、その状態が5年間継続しました。



Aさんの任意共済加入内容

任意医療保険

入院給付金日額：1万円

掛金月額：3,360円

任意収入補償保険

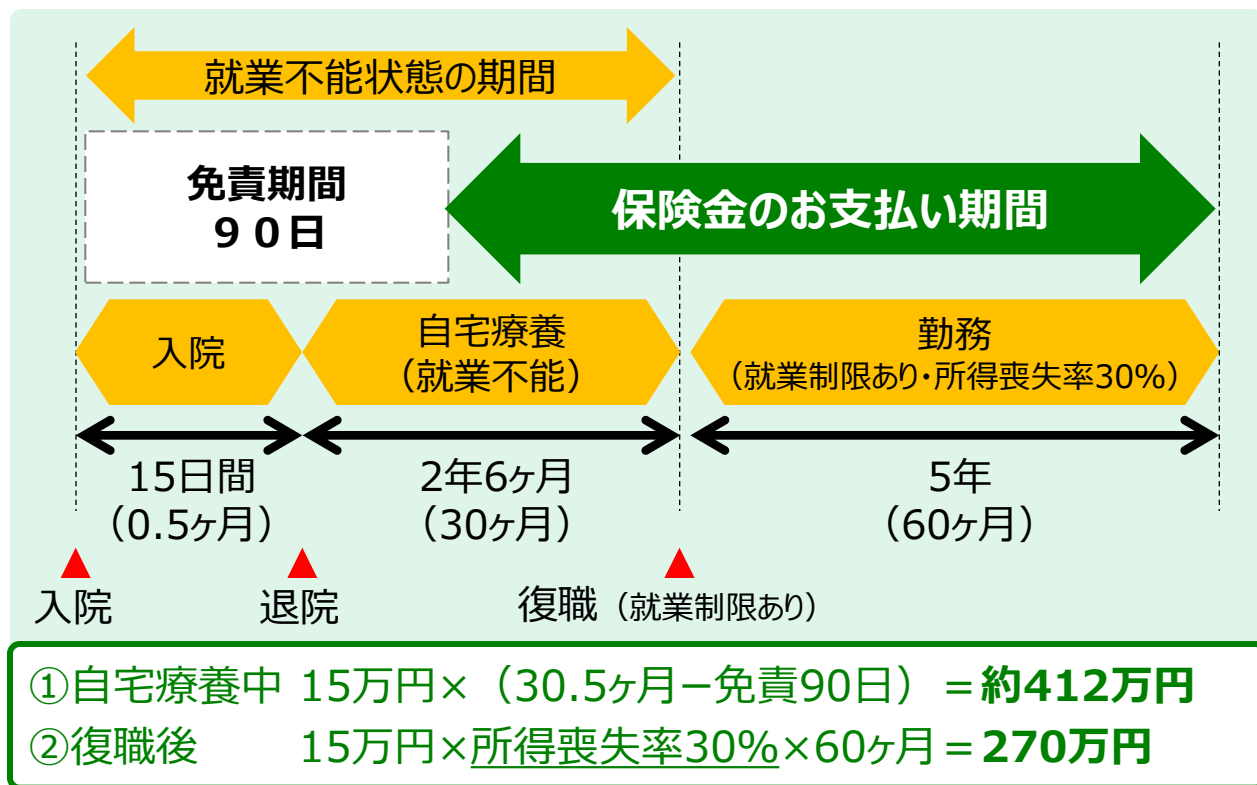
□数：3□
(保険金月額15万円)

掛金月額：5,931円

任意医療保険

- ①入院給付金
1万円×15日 = **15万円**
- ②入院療養給付金
1万円× 5 = **5万円**
- ③手術給付金
1万円×20倍 = **20万円**

任意収入補償保険



任意共済により支払われる保険金総額 **約722万円**

①生涯でがんと診断される割合

男性	62.7%
女性	46.6%

おおよそ
2人に1人

出典：（公財）がん研究振興財団「がんの統計 '16」

②がんの部位別罹患状況（2013年）

男性	20代	30代	40代	50代	60代
1位	白血病	大腸	大腸	大腸	胃
2位	悪性リンパ腫	胃	胃	胃	前立腺
3位	脳・中枢神経系	悪性リンパ腫	肺	肺	大腸

女性	20代	30代	40代	50代	60代
1位	子宮	乳房	乳房	乳房	乳房
2位	甲状腺	子宮	子宮	大腸	大腸
3位	乳房	甲状腺	大腸	子宮	肺

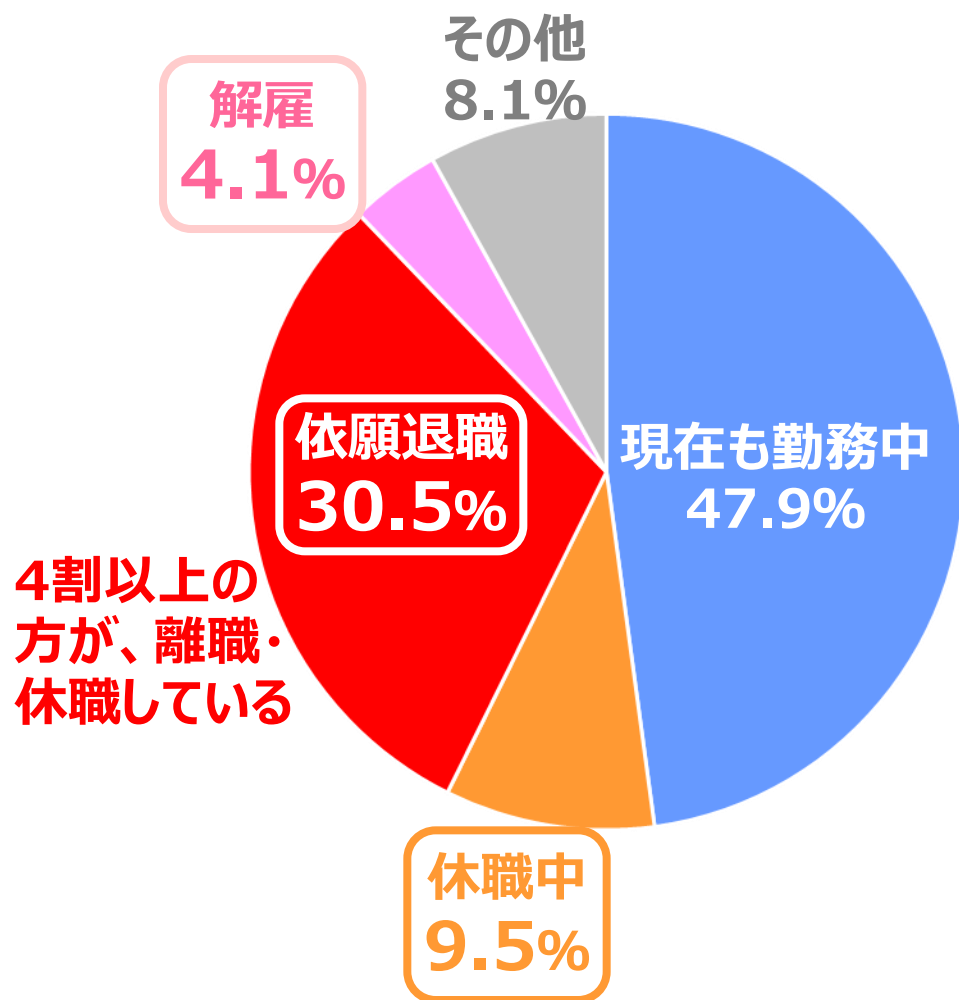
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」

③実際にがんに罹患し収入が減少した方の世帯収入減少割合

世帯収入（罹患から5年間の平均） **4.2割** 減少

出典：日本生命 2014年「インターネットアンケート」

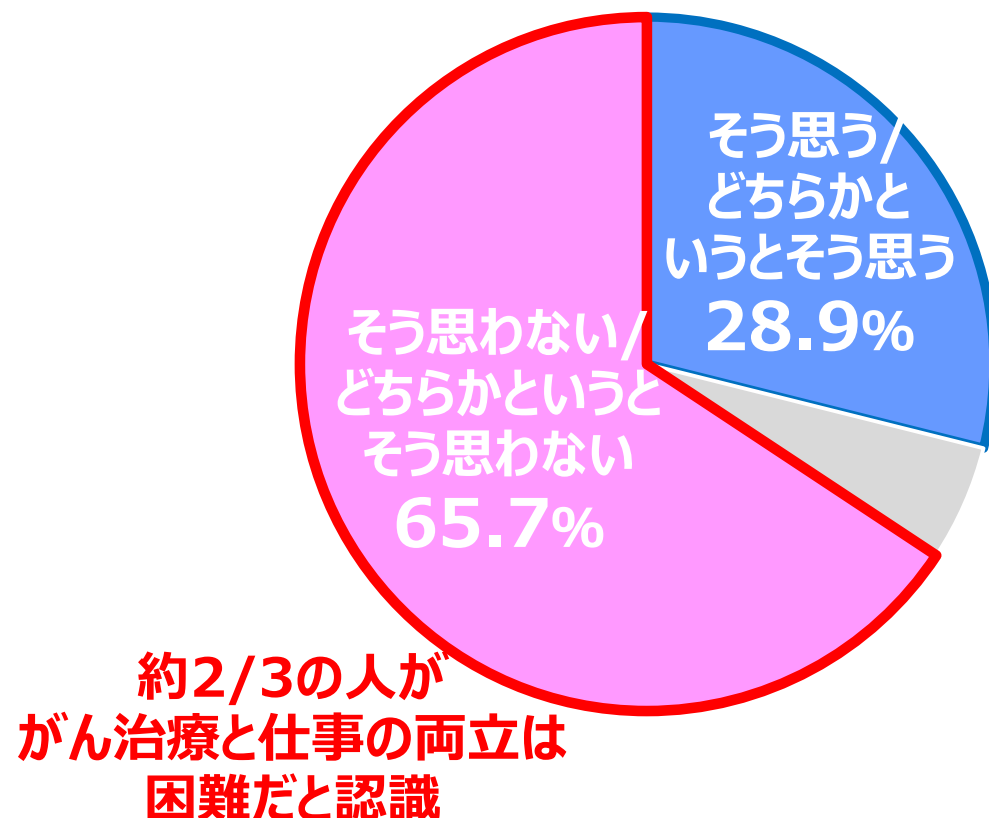
④ がんと診断された時点での勤務先について



出典：2013年がん体験者の悩みや負担等に関する実態調査（がんの社会学に関する研究グループ）

⑤ 仕事とがん治療の両立に関する認識

Q.現在の日本の社会は、がんの治療や検査のために2週間に1回程度病院に通う必要がある場合、働き続けられる環境だと思いますか？

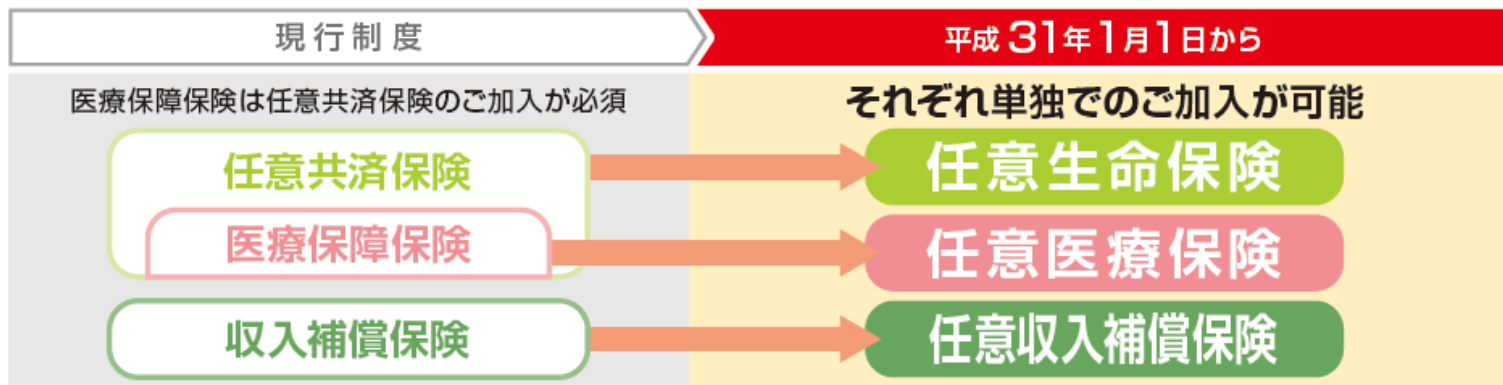


出典：内閣府「平成26年度 がん対策に関する世論調査」

任意共済の バージョンアップ内容について

POINT
1

・制度名称が変わり、任意医療保険単独でのご加入も可能に!!



※「任意生命保険」および「任意医療保険」は、配偶者や子どものみで加入することができません。(本人のご加入が必要です。)



病気やケガのときの保障「だけ」が欲しいんだよな～
扶養家族はいないし、自分が死んだあとの保険金は
必要ないかな

ご参考

今後、医療保障を準備したい人 (20代) **87.8%**

今後、死亡保障を準備したい人 (20代) **76.2%**

⇒ 死亡保障よりも**医療保障の方が準備ニーズが高い**

(出典：生命保険文化センター「平成28年度 生活保障に関する調査」)

任意医療保険
だけでも
加入できます!

POINT/
2

任意生命保険

・ 保険金額 200万円が新設され、
より加入しやすく!!

平成31年1月1日から

すでに保険金額 500万円に加入されている方のみ継続加入できます。

任意生命保険

新設

お手頃な保障を
お探しの方
ぜひご検討
ください

保険金額	3,000 万円	2,500 万円	2,000 万円	1,500 万円	1,000 万円	800 万円	600 万円	500 万円	400 万円	200 万円
本人 (職員・退職者)	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
配偶者	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○
子ども	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○



**死亡の保障も
多少は必要**だと思
うけど、さすがに
400万円は
要らないな～

死亡保障200万円も 選べます

ご参考

葬儀にかかった費用の合計 **平均195.7万円**⇒ **最低限の保障として200万円程度**は確保しておきたい

(出典：(一財)日本消費者協会「第11回葬儀についてのアンケート調査」)

POINT/
3

任意生命保険

・料率改定により、昨年より加入しやすい掛金に!! (*)

●【例】死亡・高度障がい保険金額 1,000万円にご加入の場合(本人)

昨年度

平成31年1月1日から

任意共済保険

任意生命保険

月払掛金(確定)

月払掛金(概算)

保険年齢	性別	任意共済保険 月払掛金(確定)		任意生命保険 月払掛金(概算)
15歳～35歳	男性 	1,210円	-90円 →	1,120円
	女性 	810円	-40円 →	770円

保障額は
ご加入当初の
ままになって
いませんか

(*)年齢群団等の前提条件が昨年度と変わらないとして、平成30年1月1日からの確定掛金と比較した場合。

※年齢・性別が上記と異なる場合は、掛金も異なります。また、年齢が上がり、次の年齢群団へ移る方が同額で更新された場合、更新後の掛金は更新前より高くなります。

POINT/
4

任意生命保険

任意医療保険

・加入年齢の上限が引上げられ、
さらに長期の保障が可能に!!この機会に
長期にわたる
保障を確保し
ませんか

	現行制度	平成31年1月1日から
	任意共済保険	任意生命保険
	年齢	年齢
職員およびその配偶者の新規加入・増額	60歳6カ月まで	65歳6カ月まで
退職者およびその配偶者の継続加入	70歳6カ月まで	75歳6カ月まで
	医療保障保険	任意医療保険
	年齢	年齢
職員およびその配偶者の新規加入・増額	60歳6カ月まで	65歳6カ月まで
職員・退職者およびその配偶者の継続加入	69歳6カ月まで	75歳6カ月まで

※上記の年齢は平成31年1月1日現在の年齢です。

平均寿命は延びているって
いうし、もう少し長期間の
保障が欲しいよね**退職後も75歳6カ月まで
更新可能!**

より長い期間、団体割引のメリットを受けられます

POINT/

5

任意収入補償保険

・保険期間を任意生命保険と揃え、より分かりやすく!!

昨年新規導入
したこと、
ご存知
でしたか?



●保険期間を平成31年1月1日からの1年間に変更。

(昨年度ご加入の方で、特段のお申し出がない限り、現契約から自動的に新しい保険期間で
継続されます。)

年金共済のメリットについて

① お得

② 簡単

③ 自在

①お得 利回りがよい

年金共済

(月払5口=1万円、ボーナス払なし)

銀行預金

(月1万円預金、金利0.01%、1年複利)

30~60歳の
30年間の
累計拠出額

360万円

360万円

60歳時点の
一時金受取額

約418.3万円

約57万円の
差

約360.5万円

※平成30年4月時点の基礎率を用いて算定。配当は加味せず。

②簡単

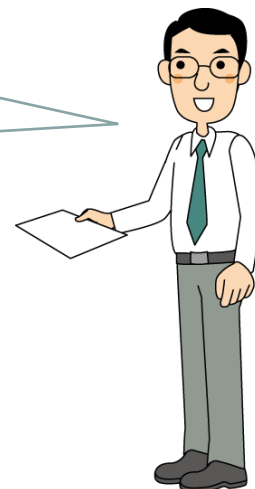
加入手続きが簡単

- 申込書類に記入・押印して、職場の総務担当者に提出するだけ



総務担当者とのやりとりだから安心感があるし、
職場で手続きが完結するのがいいね

掛金も給与・ボーナスから引去りだから
口座残高を気にする必要ないね



③ 自在

受取方法は退職時に 選択可能

○ 確定年金 (5年※・10年・15年)

※5年確定年金は一般コース加入時のみ選択可

○ 配偶者年金付終身年金

○ 終身年金

○ 一時金

最長65歳まで受け取らずに
据え置くことも可能なのか！



任意共済・年金共済の 加入推進について

Q

今年度の任意共済の加入推進のポイントは
何でしょうか？

A

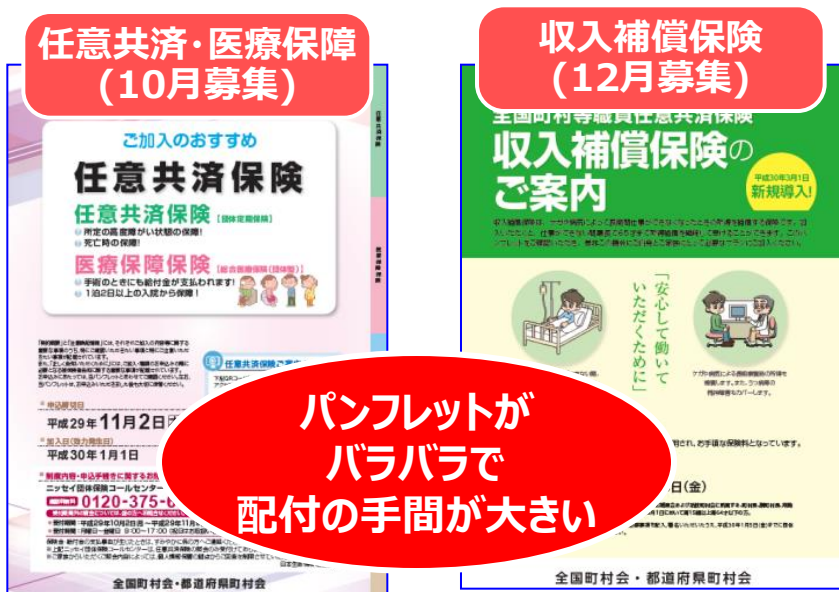
任意共済・年金共済等の未加入者も含めた

全ての町村等職員に

新しい制度内容を周知（=**募集パンフ等を配付**）

することです

<昨年まで>



パンフレットがバラバラで配付の手間が大きい

- 募集パンフレット・印字申込書を任意共済の既加入者のみに配る
⇒ 未加入者に周知されない
- 各所属ごとに募集パンフを回覧する
⇒ パンフが職員の手元に残らず、後でじっくり検討したり、家で家族と検討したりできない

<今回の募集から>

- ◆ 3商品のパンフをまとめる
- ◆ 回覧用と配付用を分ける
- ◆ 「任意生命保険」「任意医療保険」「収入補償保険」のパンフレットを1冊に統合 ⇒ 【全体版】
- ◆ 更に、全体版からポイントとなるページだけを抜粋した簡素版も提供 ⇒ 【抜粋版】
- ◆ 全体版は所属回覧用として、抜粋版は所属員配付用として活用

任意共済
パンフレット
(全体版)

上部に
全体版 と記載



任意共済
パンフレット
(抜粋版)

上部に
抜粋版 と記載



所属
回覧用として活用

対象職員全員に配付

全68ページ

全20ページ

任意生命保険・任意医療保険の申込書類

↑ 申込書兼告知書

任意収入補償保険の申込書類

↑ 加入申込書

↓ 口座振替依頼書

申込書類は従来とほぼ同じ様式です

パンフレットCD-R



- 以下の6つのファイルのPDFデータを収録
 - ・任意共済パンフレット（全体版）
 - ・任意共済パンフレット（抜粋版）
 - ・任意生命保険・任意医療保険パンフレット
（退職者用）
 - ・年金共済パンフレット
 - ・任意収入補償保険 加入申込書
 - ・任意収入補償保険 口座振替依頼書
- ⇒ 役場内イントラに登載するなどして、加入推進に活用ください

年金共済パンフレット



- 募集実施対象団体調査（所要部数調べ）で
ご報告頂いた数 + a を加入団体宛の箱に梱包
していますのでご活用ください。

ニッセイ支社を活用したケース

【公立病院】

- 新規導入された制度のため、ニッセイによる説明会が開催できないかニッセイに打診をいただく。
- 検討の結果、年金共済と合わせて収入補償保険の説明会を開催することとなり、事前に団体内でも周知いただく。
- 当日は十数名が参加し、最終的に6名が収入補償保険が加入

⇒ **日本生命を上手に活用することで効果的に加入推進に取り組んでいただいた**

担当者自身が理解して加入したケース

【役場】

- 加入団体の総務担当者自身が、新規導入された収入補償保険に興味を持ってパンフレットを読まれる。
- 良い内容だと感じたので、まず自分が加入。さらに、役場職員にも加入推進を声掛け。
- 『担当者自らも加入している』という点に説得力があり、本人の他に4名が加入。

⇒ **担当者ご自身が、「加入するかどうか考えてみよう」という当事者の目線で検討されていた**

任意共済の抜粋版パンフレットを
全ての町村等職員に配付ください

照会先：日本生命保険相互会社 公務第二部

担当 横堀（よこぼり） 03-5533-5675